



川喜多かこの
旅行用トランク

映画で
世界と日本を
結んだ女性

川喜多 かしこ展

生誕100年

第1期 2008年7月25日(金)―9月28日(日)

第2期 2008年10月7日(火)―12月26日(金)

*月曜日は休室です。*展示替えを行うため、第1期と第2期とは展示品が一部異なります。

東京国立近代美術館フィルムセンター 展示室(7階)



Madame Kawakita, Her Life and Films

2008年7月25日(金)―9月28日(日)
フィルムセンター大ホール(2階)

ヨーロッパ映画の黄金時代

川喜多かしこ

生誕100年

★関連企画(上映会)



ジョン・フォード監督、黒澤明監督と(1957年)
『ギデオン』撮影中のロンドンにて。

開室時間 午前11時―午後6時30分(入場は午後6時まで)

料金 一般200円(100円)/大学生・シニア70円(40円)/

高校生以下および18歳未満・障害者(付添者は原則1名までは無料)

*料金は常設展「展覧会・映画遺産」の入場料を含みます。*内は20名以上の団体料金です。

*学生、シニア(65歳以上・障害者の方はそれぞれ入室の際、証明できるものを提示ください。)

*フィルムセンターの上映会ご覧になった方は当日限り、半券の提示により団体料金が適用されます。

主催 東京国立近代美術館フィルムセンター、川喜多記念映画文化財団
東京国立近代美術館ホームページ <http://www.moma.go.jp/>



『大人は判ってくれない』ポスター
野口久光画

多くの東和配給作品のポスターを描き、映画・ジャズ・
ミュージカルの評論家としても名高い野口久光の傑作。

川喜多 かしこ展

生誕100年

Madame Kawakita,
Her Life and Films



川喜多かしの
パスポート



『制服の処女』
1933年度「キネマ旬報」
外国映画部門第1位受賞 トロフィー
ドイツ映画『制服の処女』は、川喜多かしが
初めて自ら選定して日本でヒットさせた作品。

日本人ほど、欧米の外にありながら長きにわたってヨーロッパ諸国の映画に親しんできた国民も少ないでしょう。それを支えたのはさまざまな外国映画の輸入・配給会社ですが、中でも比類ない地位を占めたのが、1928年に設立された東和商事映画部（のちに東和映画、東和、現在の東宝東和）です。映画を「商品」である以上に「芸術作品」として日本の観客に届けようとした東和の業績は、企業としての任務を超えて、日本の映画文化そのものの向上に貢献しました。

この2008年は、夫である社長・川喜多長政とともに長く東和を率いた、川喜多かしこ（1908～1993）の生誕百年の節目にあたります。紫の着物でカンヌやヴェネチアなど世界の映画祭をめぐる、世界のそうそうたる映画人から崇敬された「マダム・カワキタ」は、世界と日本を映画で結びつけた、いわば日本の「映画大使」とも言える存在でしょう。外国映画の輸入だけでなく、日本映画の海外への紹介にも積極的に取り組んだ川喜多かしこは、また、映画文化を振興する専門機関の必要性を説き、東京国立近代美術館フィルムセンターや川喜多記念映画文化財団の設立にも貢献しました。

この機会にフィルムセンターは、川喜多記念映画文化財団との共催により、同財団の所蔵する写真・ポスターやさまざまな遺品を中心にその功績を振り返る展覧会を開催し、日本でも先駆的なこの女性映画人の華やかな人生に迫ります。大ホールでの上映企画「生誕100年川喜多かしこヨーロッパ映画の黄金時代」と併せてご来訪ください。

★ギャラリートーク

展示期間中、佐藤忠男氏（映画評論家）、小池晃氏（川喜多記念映画文化財団理事、元同財団事務局長）、フィルムセンター研究員など専門家・関係者によるギャラリートークを開催いたします。

*詳細は後日ホームページなどでお知らせいたします。



ジェラルド・フィリップ、アンヌ夫人と（1953年）
フィリップ夫妻は第1回フランス映画祭の代表団として来日した。右は七代目尾上梅幸。



パリ「現代日本映画20選」の上映会場にて（1974年）
左からナタリー・ドロン、アンリ・ラングロワ、三船敏郎、アラン・ドロン、川喜多かしこ。



東京国立近代美術館フィルムセンター
National Film Center
The National Museum of Modern Art, Tokyo



〒104-0031 東京都中央区京橋 3-7-6
お問い合わせ：ハローダイヤル 03-5777-8600
東京国立近代美術館ホームページ <http://www.momat.go.jp/>

▼交通

東京メトロ銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分
都営地下鉄浅草線宝町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分
東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より徒歩5分
JR東京駅下車、八重洲南口より徒歩10分

